

会 議 録

会議の名称	令和3年度第4回川越市交通政策審議会
開催日時	令和3年11月8日(月) 午前10時～午前10時45分
開催場所	ウェスタ川越1階 第1・第2・第3会議室
出席者	別添委員名簿のとおり
傍聴者	3名
欠席者	東洋大学 尾崎 晴男 委員 川越商工会議所 竹澤 穰治 委員 埼玉県川越警察署交通課 木暮 尚巳 委員
事務局職員	都市計画部 本間部長 交通政策課 間仁田課長、榎本副課長、田畑副主幹、中村主査 山田主任、佐々木主任
会議次第	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度第4回川越市交通政策審議会次第 ・ 委員名簿兼出席者名簿 ・ 席次表 ・ 【資料1】川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】原案(案) ・ 【資料2】素案修正版に対する交通政策審議会での意見及び対応とその他修正箇所について ・ 【資料3】市内循環バス「川越シャトル」OD調査(乗降客数調査)の概要について ・ 市内循環バス 川越シャトルOD調査(乗降客数調査)報告書 ・ 市内循環バス 川越シャトル利用者アンケート報告書
会議要旨	<p>【審議事項】「川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】(原案)」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局案のとおり進めることに決定した。 <p>【報告事項】市内循環バス 川越シャトルOD調査(乗降客数調査)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より川越シャトルOD調査報告書、アンケート報告書について報告を行った。

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	事務局から、当審議会は特段の理由がない場合は原則となっていることから、傍聴希望者について入室を認めてもよろしいか交通政策審議会に諮ったところ、異議はなく、傍聴希望者の入室が認められた。
事務局	1 開会
事務局	2 あいさつ 久保田会長からあいさつ
事務局	3 議事 【審議事項】川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】（原案）について事務局より資料1、資料2をもとに説明。
議長（会長）	何か意見、質問等あるか。
委員	市民は、この交通戦略という大きな計画だけではなく、身近な問題として、通学路に危険がないのか、道路の舗装状況等の身近な問題にも関心があると思う。 そのようなことについてもこの交通戦略で十分に検討されたと思うが、施策パッケージの事業を記載するにあたり、記載ができなかった事業があるのではないかと考える。今後、計画を推進するにあたり、記載されている事業を進めるだけでなく、記載されていない事業についても全体的に実施していくという意思表示を行ってほしいと考える。
議長（会長）	今の段階で、記載しておいたほうが良い事業があるというご指摘があれば、今のうちにいただければと思う。
委員	具体的に何か記載をしてほしい、というわけではない。施策パッケージに記載していないような細かな事業もあるかと思う。そのような事業についても十分配慮しているという意思表示をしていただければ、この交通戦略がより良いものになると考える。

議長（会長）	事務局はその趣旨を受け止めていただければと思う。 他に意見や質問はあるか。
委員一同	なし。 ➡事務局案のとおり承認となった。
事務局	【報告事項】市内循環バス 川越シャトルOD調査(乗降客数調査)について 事務局より資料3、市内循環バス 川越シャトルOD調査（乗降客数調査）報告書、市内循環バス 川越シャトル利用者アンケート報告書をもとに説明。
議長（会長）	何か質問等あるか。
委員	今回の調査の目的は何か。川越シャトルは概ね5年ごとに見直しを行っているため、その見直しに向けて実施したのか。
事務局	その通りである。
委員	現状の路線の運行開始が平成30年なので、5年ごとの見直しとなると令和5年に新路線運行ということになる。今後の川越シャトルの見直しについてスケジュールを確認したい。
事務局	川越シャトルは概ね5年に1度、見直しを行っているところではあるが、今回、新型コロナウイルスの影響も考慮して、今後のスケジュールを決めていきたいと考えている。現段階ではいつ見直す、ということではなくて、この審議会に諮りながら対応を決めていきたいと考えている。
委員	今回の調査は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けているのではないかと考える。この影響を考えて見直しの時期を検討することだが、5年ごとではなく6年目に見直すことや、逆に早めに見直しを行うこともあるのか。
事務局	見直しのスケジュールについては、委員の皆様の意見を伺いながら検討したいと考えている。

委員	<p>今回の調査について、川越シャトルは高齢者や障害者の方が多く利用しているということは、福祉的要素が強く、また、買い物や通院等の利用者が多いことを踏まえると、高齢者や障害者の移動手段としてしっかりと利用されていると考える。</p> <p>今回の調査で多く利用されている箇所と利用の少ない箇所が数字で出た。これまでの見直しでは、最初は路線を増やす見直しを行った後に、今度は利用の少ない路線が削減されていった。そうすると、一日当たりの便数の少なさが原因となり、利用についての不便が生じているという声があると思う。アンケートにも増便を希望する意見が多くあった。利用が少ない箇所についての見直しは、現段階ではどのようにしていく予定なのか。</p>
事務局	<p>一日当たりの便数が少ない路線や利用が少ない箇所をどうするかの方向性について、まだ具体的には検討していない。この審議会で川越シャトル、デマンド型交通かわまるの目的を明確にし、今後どうしていくかが重要だと考えている。また、予算の面もあるため、このことも十分加味しつつ、委員の皆様の意見を伺いながら検討していきたいと考える。</p>
議長（会長）	<p>資料3のP10で、自宅から最寄りのバス停まで徒歩で何分かかかるか、との調査項目があるが、自宅付近には無いとの回答が約16%ある。この方たちは最寄りのバス停まで徒歩15分以上ということなのか、実際の分布はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>自宅付近にはない、との回答をされた方の大半は市外在住の利用者と考える。</p>
議長（会長）	<p>川越シャトルが距離的に使いにくい方がどれだけいるかを把握することも重要なので、分析をお願いしたい。</p>
委員	<p>総乗車人数は累積の人数か。実人数の把握はできるのか。</p>
事務局	<p>総乗車人数は延べ人数となっており、実人数の把握は難しい。</p>
議長（会長）	<p>その他、質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし。</p>

	<p>4 その他 ➡特になし。</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--